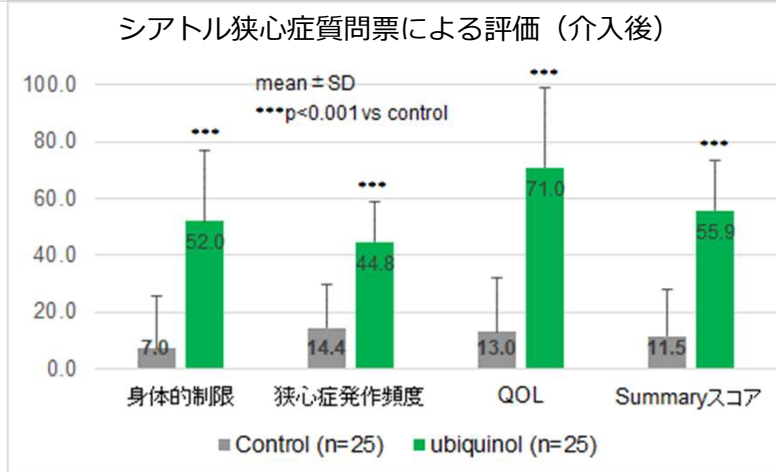
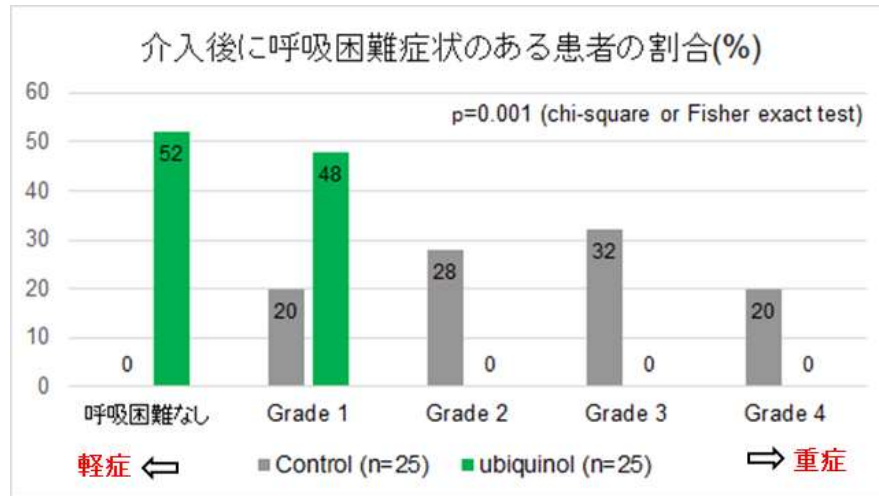


急性冠動脈症候群患者に対する還元型CoQ10による PCI処置後の呼吸困難症状および狭心症の軽減



【試験方法】

- 試験デザイン：ランダム化二重盲検対照比較
- 被験者：急性冠動脈症候群患者50名（男：女 = 30：20）
※経皮的冠動脈形成術（PCI）施術後、継続治療中の者
還元型CoQ10群 25名、55.9±8.0歳
プラセボ群 25名、56.4±8.7歳 ※年齢は平均値±標準偏差
- 食品：8週間摂取
還元型coQ10（200mg/日）またはプラセボ
- 評価：呼吸困難症状評価、狭心症質問票

【結果】

還元型CoQ10群では、呼吸困難症状を有する患者数がプラセボ群よりも有意に少なく（症状があっても軽症であることにも注目）、身体的制限、狭心症発作頻度、QOL（生活の質）やサマリスコアも有意に高（良）かった。

(Ali SH et al, J Popul Ther Clin Pharmacol. 2023; 30(13):e405–e414 より作成)